



救世軍の働きをご支援いただいているみなさまへ

春の献金のお願い

克己週間募金

春暖の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

救世軍の働きに対しまして平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

救世軍は昨年、国内76ヵ所、海外128の国と地域の27,341ヵ所の拠点を通して

伝道・社会福祉・医療・教育・地域開発の働きを進めることができました。

特に昨年は、度重なる大規模なハリケーンやサイクロンに見舞われた地域において、

救世軍の国際的なネットワークによる長期にわたる被災者支援を行いました。

日本の救世軍は今年から新たに、**バングラデシュ、カナダ、バミューダ、ラテンアメリカ北部（コロンビア、コスタリカ、キューバ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、ベネズエラ）、リベリア、シエラレオネ、マラウイの救世軍とパートナーシップを組み、助けを要する人々への支援を進めて参ります。**

今年も克己週間募金にあたり、救世軍人一同、自ら克己して献げると共に、

みなさまからのご賛同と、ご献金を賜りたく、お願いする次第です。

神様の御祝福を心からお祈り申し上げます。



「さあ 支援に出発！」

昨年9月のメキシコ地震に際して、支援に出発するメキシコの救世軍です。



「清潔な水をどうぞ」
被害に苦しむ人々に
直接手渡しています

(セント・マーチン島のハリケーンで)

2018年 春

救世軍司令官
ケネス・メイナー



救世軍本営

101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17

Tel: 03-3237-0881 Fax: 03-3237-3588

[http:// 救世軍 . jp](http://www.salvationarmy.jp)

救世軍

救世軍は、1865年にイギリスのロンドンで設立されたプロテスタントのキリスト教会です。世界128の国と地域でキリストの愛を伝え、各種の医療事業、社会福祉事業を行っています。

日本では1895年（明治28年）に始まり、現在は43の小隊（教会にあたる）での伝道活動、2ヵ所の病院（ホスピス併設）、保育所、児童養護施設、婦人保護施設、特別養護老人ホーム、老人保健施設、酒害者リハビリテーション施設などを通して働きを進めています。

救世軍は写真のように、お預かりしたご献金を世界中で生かしています。

昨年9月7日にメキシコ南部で発生したマグニチュード8の地震により大きな被害が出ました。救世軍は地震直後から移動給食車などを通じて2週間に21,000食の食事を提供。また、避難している人々が自分で調理できるように食材を配布しました。

9月8日にハリケーン「カティア」により大規模な地すべりが発生。救世軍は毎日200食を4日間にわたって提供しました。また、120世帯に保存食を配布しました。他にプエブロでは毎日300食、モレロスでは4カ所ですべて毎日1,500食を提供しました。



メキシコ地震
災害支援

昨年10月のハリケーンで、バーブダ島の住民の9割近くがアンティグア島への避難生活を余儀なくされました。救世軍では避難している人々への食事の提供や食料品の配布、カウンセリングを提供しました。



カリブ諸島
ハリケーン
被災者支援

バングラデシュ

バングラデシュ
洪水被災者支援



南アジアのバングラデシュでは昨年8月と9月のモンスーン（雨季）による洪水で800万人が被災し、145人が命を落としました。救世軍は米、レンズ豆、塩、油、糖蜜、生理食塩水を造るための錠剤を配布しました。

キューバ
ハリケーン
被災者支援



昨年のハリケーンで被災したキューバのほか、米領ヴァージン諸島、プエルトリコ、英領ヴァージン諸島、カイクス諸島、セントマーチン、バハマなどでも救世軍は食料と救援物資の配布を行いました。

メキシコ

キューバ

アメリカ
ハリケーン
被災者支援



昨年9月にアメリカ南部やカリブ諸国を繰り返し襲ったハリケーン「ハーヴィー」と「イルマ」の被害に対して、救世軍は移動給食車などにより、被災した地域への食事の配布を行いました。ハリケーン「ハーヴィー」だけで救世軍は30万食以上を配布しました。

<取り扱い支部>